

7月は「県産品奨励月間」 美ら島の元気の源 県産品

県は、関係団体と一体になって、県産品奨励月間中、県産品の普及を目的にさまざまなイベントを実施します。

県産品

県では、農工商連携や地域資源活用のための人材育成、地域ブランドの確立などを促進するため、研究施設の提供や共同開発を行ない、県産品の安定した供給体制の整備を支援しています。

また、沖縄県優良県産品推奨制度や、関係機関との協力による県外および海外での物産展・商談会を実施し、県産品の販路開拓に向けた取り組みを行っています。

県産品には生鮮食品をはじめ、加工食品・化粧品・衣類・建設資材など、さまざまな製品があります。最近では、品質やデザインの向上、新商品の研究開発が活発に行われています。

沖縄料理をレトルトにした商品やモズク成分を配合した化粧品、廃品を利用し開発されたリサイクル資材など、県内業者の創意と工夫により、消費者や時代のニーズにマッチした新しい商品が生まれています。

なかでも夏の正装として定着しているかりゆしウェアは、クールビズの先進的な取り組みとして評価されることも、最近では若者や女性をターゲットにしたデザイン開発も行われています。



2009年県産品奨励月間

夏の交通安全県民運動

「こないだろう」それがあぶない「きてるかも」をスローガンに、七月十二日からの十日間、夏の交通安全県民運動を実施します。交通事故のない安全で安心な沖縄県にするために交通ルールやマナーを守りましょう。

夏の交通安全県民運動

夏の交通安全県民運動は、広く県民に交通安全意識の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通安全マナーの実践を習慣づけることで交通事故の抑止を図ることを目的に実施します。今年度の重点項目は次の四つです。

- ① 高齢者の交通事故防止
- ② 飲酒運転の根絶
- ③ 二輪車の交通事故防止
- ④ 沖縄自動車道の無料化社会実験に伴う交通事故防止

高齢者の交通事故防止

今年の一月から五月までの交通事故死亡事故人数をみると、高齢者の死亡人数が全体の約半数を占めています。特に、夜間の道路横断時の事故が多くなっています。

高齢者の交通事故を防止するためには、ドライバーと高齢者本人が次の事を心がける必要があります。

- ・高齢者本人が心がけること
- ・夜間外出時には、運転者に目立つ、できるだけ明るい色の洋服や反射材用品を身につけましょう
- ・道路横断時は、自動車への注意を徹底しましょう



去年の「夏の交通安全県民運動出発式」での小学生によるエイサー演舞

沖縄県優良県産品推奨制度

この制度は、県産品の品質の向上と需要の拡大を図り、販路開拓に資することを目的に設立されたもので、公的な試験研究機関等の厳しい検査と選定審査会における厳正な審査を経て、県が推奨製品を決定するものです。飲食料品の部、生活用品の部、その他製品の部（機械・設備類など）の三部門があり、多くの製品を対象としています。

平成二十一年度は、「飲食料品の部」で四十六点、「生活用品の部」で二十五点、「その他製品の部」で十三点の合計八十四製品を優良県産品として決定しました。

平成21年度最優秀県産品受賞製品



庄密三線 真壁型 (琉球松使用)

ペーパークラフト 「進貢船」

琉球泡盛 球美18年

県産品奨励月間

月間中は、県産品の製造施設を見学する「ふるさと企業訪問」や県庁一階での優良県産品展示コーナーの設置、マンガカフェアなどが開催されます。

「ふるさと企業訪問」は、地元製造業の技術や製品の安全性を確認できる機会とあって、毎年多くの親子が参加しています。

お問い合わせ

県産品奨励月間実行委員会事務局
〔社〕沖縄県工業連合会内
☎〇九八―八五九―六一九一

ふるさと企業訪問



県産食材を使った昼食会

アルコール処理にかかる時間

体内でのアルコール処理は、体重1kgにつき1時間で0.1gの速度です。例えば、体重60kgの人が1単位(※)処理するには、3～4時間かかります。体重60kgの人が飲酒して、8時間後に勤務したとします。酒量が2単位ならアルコールは検出されませんが、3単位だと検出されることになります。

これはあくまで目安です。日ごろの飲みすぎがたたって肝臓が弱っていたり、風邪薬を飲んでいたりしたらアルコールの処理にはもっと時間がかかるかもしれません。

※1単位=純アルコール20gを含む酒量

1単位 500ml ビール アルコール度 5%	1単位 小グラス2杯 200ml ワイン アルコール度 12%	1単位 コップ半分 100ml 泡盛 アルコール度 25%
----------------------------------	---------------------------------------------	-------------------------------------------

出典：(社)日本損害保険協会
「飲酒運転防止マニュアル」

【ドライバーが心がけること】

- ・安全速度の励行
- ・夜間運転時には、ライトの上向き、下向きをこまめに切り替えましょう

飲酒運転の根絶

沖縄県は、飲酒絡みの人身事故の割合が、二十年連続全国ワースト一位と不名誉な記録が続いています。

このような状況打開のため、県は、昨年「沖縄県飲酒運転根絶条例」を制定し、県民すべてに飲酒運転根絶のために取り組みを呼びかけています。

飲酒運転で検挙される人の約五人に一人は、早朝六時から九時に検挙され、二日酔いの状態でも飲酒運転は犯罪であり、「飲酒運転をしない、させない、許さない」という強い意志を県民一人ひとりが持つことが必要です。家庭や職場など社会全体で飲酒運転根絶の気運を盛り上げていく必要があります。

※毎月一日は「飲酒運転根絶運動の日」です。

二輪車の交通事故防止

去年一年間の交通死亡事故の約半数は、二輪車乗車中の事故です。渋滞時のすり抜けや路肩走行などの危険運転はやめましょう。また、交差点における一時停止や安全確認を徹底しましょう。

沖縄自動車道の無料化社会実験に伴う交通事故防止

六月から沖縄自動車道の無料化社会実験が実施されています。通行車両の増加により、インターチェンジ出入口での交通渋滞や事故の増加が懸念されています。ドライバーは安全速度の励行、車間距離の確保など交通ルールやマナーを遵守しましょう。

交通事故でお困りの方は 沖縄県交通事故相談所へ

(本所) 県南部合同庁舎五階
☎〇九八―八六六―二一八五
(中部支所) 県中部合同庁舎四階
☎〇九八―九三九―七五二二
相談日 月・金曜日(祝日を除く)
相談時間 午前八時半～午後五時十五分